

職員による自己評価

A環境面

・活動スペースは部屋を使い分けることもできていて、研修の機会も良い。ただ、スタッフ数は送迎で学校同士の時間が重なっている時は足りなさを感じている。

B児童への支援内容

・活動プログラムの工夫はできている。
・事前のミーティング、支援後の振返りも日々できているが、内容の細やかさは「もっと」という意見もあった。

C関係機関との連携

・協議会や担当会議の参加姿勢は良い。
・児童館との交流はないが「やりたい」「外出先ではたまに一緒に遊ぶ」「利用者の中に程度の違う子が利用しているからできている」という意見もあった。
・医療、児童や園との情報共有は足りていない。

D保護者への説明責任・信頼関係

・連絡帳、電話、メール、送迎時と日々のやり取りは足りているが、父母会については実施できていない。また、ペアレントトレーニングも「行いたい」という意見もあるように改善が必要。

E非常対応

・訓練の実施は良い。
・マニュアル周知が不足している。

保護者による評価

A環境面

・活動のスペースは十分だが、バリアフリー化は「どちらともいえない」が半数近く。

・「職員配置は十分、専門性は不明」という声も。

B児童への支援内容

・放課後等デイサービス計画、活動プログラムについては評価をいただいている。

・支援に満足していただいている声も多いが、「特定の男性スタッフの衛生面や対応について気になる」という意見もあった。

・障がいのない子どもとの関わりについては「どちらともいえない」が多いが「他の活動が充実していればなくてもいい」という意見が今年度はあった。

C事業所からの情報発信

・「利用者負担の内訳がわからない」「助言はあまりない」と発信の改善が必要。

・父母会についても「年に2回はあると嬉しい」と今年度は開催ができていない。

D非常対応

・避難訓練の実施は知ってもらえているが、マニュアルの周知はできていない。

事業所内での分析

【共通点】

- ・活動スペースは十分。
- ・非常時のマニュアルや職員の専門性は周知が足りていない。
- ・放課後等デイサービスの計画への支持。
- ・活動プログラムの工夫ができています。
- ・父母会ができていない。
- ・個人情報の取り扱いができています。
- ・障がいのない子どもたちとの関わる機会の少なさ。
- ・日々の連絡や子どもたちの様子の確認はできています。

【相違点】

- ・職員の配置数について。
- ・バリアフリー化の配慮

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・活動スペースの広さ
- ・活動プログラムが充実している。
- ・保護者の方との日頃の連絡体制はできている。
- ・個人情報の取り扱いができています。
- ・日々のミーティングの機会が確保されている。
- ・放課後等デイサービス計画

事業所の改善点

- ・設備のバリアフリー化
(視覚化、構造化)
- ・父母会（保護者会）の開催。
- ・非常時のマニュアルの周知不足。
- ・障がいのない子どもたちとの関わり
(ニーズを確認して)
- ・「どちらともいえない」は事業所側の説明、発信が足りていない。

事業所の改善への取り組み

- ・職員側のマニュアルの詳しく知る機会を設ける。
- ・ホームページや書面でマニュアルを発信して周知。また面談でクリームソーダに来所していただいた際に「マニュアルが掲示されている」ことを案内し見てもらえる機会を増やす。
- ・室内にある物を情報整理し、視覚的に子どもたちが過ごしやすいうように環境整備する。
- ・父母会（保護者会）を「毎年〇月開催」と時期を固定化し事前に発表する。
- ・避難訓練実施内容を連絡帳に今まで以上に詳細に記入する。
- ・障がいのない子どもたちとの関わりは普段の活動で「手帳が無い子」「診断が出ていない子」と一緒に行っているため、クリームソーダ以外の子どもたちとの関わりはニーズを把握してから検討する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

日々の支援・活動にご理解、ご協力していただき、また事業所評価の記入も誠にありがとうございます。評価していただいているご意見は強みとして、改善が必要なご意見や「どちらともいえない」が多かった内容は早急に対応し「安心・安全」に繋げていきます。特に父母会やマニュアルの周知については昨年度からの改善ができていませんでした。上記で書いたように子どもたちや保護者の皆様に知ってもらう機会を増やし、来年度は今まで以上に「発信」にも力を入れていきます。改めまして、貴重なご意見ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします

事業所名 _____ 放課後等デイサービスクリームソーダ単位1 (小学部)

担当者 _____ 山本 洋平